

テーマ：観光（実践校）

後志管内 赤井川村赤井川中学校

■本実践のポイント（概要）

- ・ふるさとに対する興味・関心を高め、よりよい地域づくりに主体的に関わろうとする態度を養うために、赤井川村の観光及び地場産業、地域素材に焦点をあてた取材活動や体験活動等による情報収集、村の活性化に向けた観光PRについての提言を行うことを通した探究的な学習活動を展開しました。

■ふるさと教育・観光教育の実践内容

①取組の様子

(1) 課題の設定

前年度の地域おこし協力隊による地域の実態と村内の取組についての講義を踏まえて、村内7か所の観光名所や事業所を視察する「村内巡り」を行い、「赤井川の魅力とまちづくり」についての個人及びグループ課題の設定を行いました。

(2) 情報の収集

村内の商店、役場等において、取材活動、調査活動を実施しました。また、地元の農家への取材活動と体験活動を通して、地場産業についての情報を集めるとともに、地域の特徴について理解を深めました。

(3) 整理・分析

各グループで、取材活動や体験活動等により得られた情報を「魅力を発信する方法」と「商品開発や企画の立案」の観点で整理・分析しました。

(4) まとめ・表現

各グループで、提言に向けた資料の作成を行い、「村活性化への提言」を発表会の形式で行いました。発表会には、役場の産業課職員、地元農家、保護者等を招きました。「魅力を発信する方法」では、「PR動画の作成やYouTubeでの動画配信」「パンフレットやポスターの作成」について、「商品開発や企画の立案」では、「地元食材や特産品を利用した『レシピ開発』」「花火大会の企画」「ワンコイン映画館の企画」について、プレゼンテーションを行いました。

②生徒の感想等

- ・地元産の食材でお土産をつくるのはとても楽しく、赤井川村の食べ物についてもっと知りたいと思いました。
- ・将来の進路には第1次産業を選択したいと思いました。
- ・PR動画を上手に制作することができました。また、赤井川村の魅力を発信したいです。



【役場訪問～村づくりについて～】



【農家での体験活動の様子】



【提言の様子】

■取組の成果（○）と課題（●）

- 生徒のアンケートから、「農家、果樹園等、村内の地場産業について関心をもつ生徒の割合」が62%から92%、「ふるさと納税等の行政の取組について関心をもつ生徒の割合」が46%から85%、「観光業等、地元産業の今後の在り方について考えてみたいと思う生徒の割合」が46%から77%にそれぞれ増加しました。生徒の興味・関心に応じて、村内の観光名所、公官庁、事業所、農家等、数多くの訪問を行ったことで、自分たちが暮らす地域の課題を焦点化することができた結果であると考えます。
- 外部人材や受入事業所等、地域の教育資源をさらに拡充させていくとともに、村の魅力についてまとめた動画やポスター及び提言書を、地域内だけではなく、地域の外にも発信する活動を考えていきたいです。